

にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

会員レポート

山口県、九州地方の会員の皆様にアンケートをお願いし、各県・市町村のPRをしていただきました。今回は山口県を紹介します。

山口県

祭&イベント◆

岩国市

- ・錦帯橋まつり（4月29日）
- ・岩国基地日米親善デー（5月5日）
- ・錦帯橋の鶴飼（6月1日～8月31日）

防府市

- ・笑い講（12月第1日曜日）

柳井市

- ・金魚ちょうちん祭り（8月13日）

下関市

- ・下関海峡まつり（5月4日）
- ・馬関まつり（8月下旬土・日曜日）

山口市

- ・ホテル鑑賞のタベ（5月下旬～6月上旬）
- ・山口セタちょうちんまつり（8月6日～7日）

豊浦町

- ・土井ヶ浜弥生まつり（4月29日）

長門市

- ・仙崎みすゞまつり（5月第4土・日曜日）

萩市

- ・萩 万灯会（8月13・15日）

徳山市

- ・徳山冬のツリーまつり（12月中旬）

Map labels: 長門市, 萩市, 豊浦町, 山口市, 防府市, 岩国市, 下関市, 徳山市, 柳井市

★これから行われるおすすめのイベント★



会 期：2001年（平成13年）
 7月14日（土）～9月30日（日）〔79日間〕
 開場時間：9:30～21:00
 会 場：山口県阿知須（あじす）町きらら浜
 主 催：21世紀未来博覧会協会
 問合せ先：アライダイヤル 0120-503189 （21世紀未来博覧会協会入場券販売管理部）

*詳しくは、別添チラシをご覧ください。

新しい時代に向けて、驚きや楽しさ、夢を求め、日々のくらしや「いのち」を最高に輝かせたい。そんな人々の思いを反映して、山口県は新たな未来を創造し、地域社会のより一層の発展を目指すため、西暦2001年（平成13年）に『山口きらら博』を開催します。

新しい時代、それは個の時代。

1人ひとりの個性が輝きながら、全体が調和して燦めく時代。

みんなちがって、みんないい。

山口きららバンドは、そんな21世紀に向けて未来への希望を奏でていきます。

会場では、企業や官公庁のパビリオンや様々なイベントを開催！

山口きらら博のキャラクター「きららバンド」もあなたの来場を待っています。

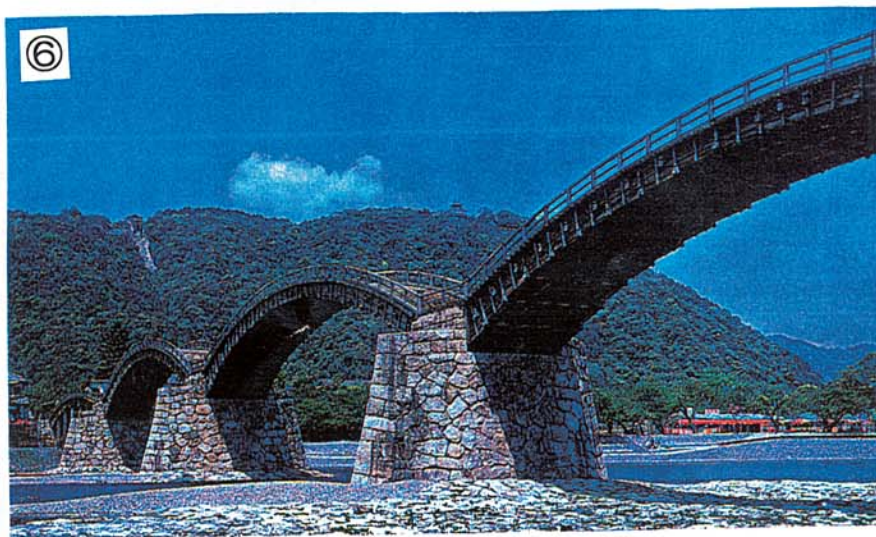
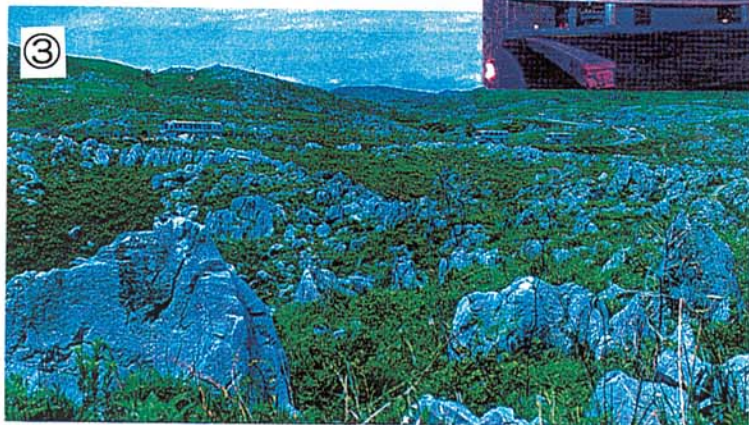
来年も おいでませ、やまぐちへ。

おいでませ、山口きらら博へ！

「元気のくにづくり」「元気のくにの旅づくり」「旅の感動づくり」を
周遊・出会い・楽しむ
 7つのゾーン、4つの広場、5つの道。



◆ 観 光 ◆



①SL やまぐち号 (小郡～津和野)

様々な歴史と人々の思いを乗せて、小郡～津和野間を走り続ける「SL やまぐち号」。「貴婦人」と呼ばれるC57の優美な客車に揺られながら日本の20世紀を旅しましょう。

②サビエル記念聖堂 (山口市)

昭和27年にフランシスコ・サビエル来訪400年記念として建てられ、山口のシンボルとして親しまれていましたが、平成3年9月に焼失。平成10年4月に、斬新なデザインの新しい記念聖堂が完成しました。

③秋吉台、秋芳洞 (秋芳町・美東町)

総面積130k㎡に及ぶ日本一のカルスト高原である「秋吉台」、東洋最大の規模をもつ大鍾乳洞「秋芳洞」は、共に自然の神秘を体感することのできるスポットです。

④青海島 (長門市)

「海上アルプス」と呼ばれ、北長門海岸国定公園の代表的な景勝地です。

⑤松陰神社 (萩市)

松下村塾で、明治維新の偉業をなした高杉晋作、伊藤博文ら多くの逸材を育て、維新の原動力となった『吉田松陰』を祀っており、境内には松下村塾や歴史館などもあります。

⑥錦帯橋 (岩国市)

錦川の清流に架かる五連のアーチ型木橋。築城技術を用いた組木と石の橋台は日本三名橋のひとつ。

⑦関門大橋と海峡ゆめタワー (下関市)

源平合戦で有名な壇ノ浦古戦場跡、宮本武蔵と佐々木小次郎の決戦地・巖流島など、関門海峡には数々の歴史を持つ場所があります

本州と九州を結ぶ関門大橋は、夜間にはライトアップされ、美しいシルエットを映し出します。大橋からは下関の夜景を望む事もでき、夜のドライブにはうってつけかも。

また、下関の新しいシンボル「海峡ゆめタワー」の展望室は、全面ガラス張りの球体で、関門海峡、巖流島、九州の連山、響灘、そして日本海と360度の雄大な展望が目の前いっぱい広がります。

◆郷土料理&特産品◆

・ふく（ふぐ）【下関市】

下関を中心に、山口県では「ふぐ」を「ふく」と清音で呼びます。「ふく」は「福」に通じ縁起を担がれています。特に下関市南風泊（はえどまり）市場では、全国の8割以上のふくが水揚げされ、全国に出荷されています。



・ひらめ【下松市】

水質の良い笠戸湾で育まれた笠戸ひらめは、天然、養殖ともに身が引き締まり、歯ごたえが抜群で旨い。脂肪分が極めて少なく、タンパク質が豊富なその身は、“姿づくり”“焼き物”“煮物”と続くフルコースの中で絶妙な味わいが楽しめる。和食だけでなく、洋食も好評。

・外郎【山口市】

ワラビの根からとったワラビ粉と小豆を使った蒸し菓子。独特の歯ごたえと、ほんのりとした甘さを楽しもう。

・大内人形【山口市】

男女一対の大内人形は大内氏24代大内弘世が京都を恋しがる夫人を慰めるために作らせた人形が始まりで、男女和合、一家平和の守り人形として愛され続けています。結婚記念日に送る人も多いという話です。



・萩焼【萩市】

・金魚ちょうちん【柳井市】

・ふくちょうちん【下関市】

ニュース

◆日本海にぎわい・交流海道推進協議会 平成12年度総会が開催されます◆（長崎県下県郡厳原町）

平成12年8月24日（木）に、長崎県下県郡厳原町において、平成12年度「日本海にぎわい・交流海道推進協議会」総会及びフォーラムを開催します。

これまで、総会及びフォーラムを新潟市、小樽市、境港市、新湊市で行ってきておりますが、島嶼部での開催は初の試みです。

総会では、昨年度の活動報告や本年度の事業計画の決定等を行います。

昨年度の活動として、特に、各会員の御協力により、会員各地域の伝統行事の日程を織り込んだ「日本海にぎわいカレンダー」の作成、全会員の地域や港の情報を編纂した「協議会記念誌」の作成を行うことができました。

来年度からは、会員間の情報交換のみならず、本会の活動を広く情報発信するためにホームページの開設等を行っていく予定です。

なお、本会は新たな事業の検討体制を強化するため、本総会をもって「日本海にぎわい・交流海道ネットワーク」へと改組されることとなっています。

フォーラムでは、慶応大学文学部の田代和生（かずい）教授から「江戸時代 対馬・朝鮮交流海道のにぎわい」と題して、江戸時代における対馬藩と朝鮮との交易が日本海沿岸地域に与えた影響等についてご講演をいただきます。

さらに、総会に参加した市町村長と各港湾建設局長による意見交換会を予定しております。

～編集後記～

総会が直前となり、とりあえず発行にこぎ着けたという感じになってしまい、結局今回は山口県のみで紹介となっております。山口県は筆者のふるさとでもあり、山口県民が全力で取り組もうとしている「山口きらら博」も開催されるということで、めいっぱい応援しようと頑張っ書いてはみたものの、力不足で書ききることが出来なかったのが現状です。

山口県は、本州の端にある県ということで知名度はあまり高くありませんが、魅力的なところですよ。是非遊びに来て下さい。

この度も、会員の皆様に多大な御協力をいただきました。今回紹介できなかった県・市町村につきましては、順次紹介していきたいと考えております。

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

第四港湾建設局 海域環境課

TEL 0832-24-4129

FAX 0832-28-1310